

# 川崎市 令和8年度 予算概要説明会が開催される！

2026年3月27日（金）川崎市本庁舎において、「川崎市令和8年度 予算概要説明会」が開催されました。この説明会は、川崎地域連合・連合神奈川が申し入れた「2026年度に向けた政策・制度要求と提言」に対する検証の場と位置付けられています。

出席者は、連合神奈川から林会長を含む9名、川崎地域連合と川崎労協からは18名、そして川崎市から福田市長を含む6名が出席しました。



会の冒頭、小関財政部長が予算のポイントを説明し、一般会計当初予算の規模は9377億円と前年比450億円増加し、過去最大となったことが報告されました。



あいさつをする福田市長

続いて福田市長は、「本年度予算について連合の皆さんとディスカッションを通じて、川崎市の理解を深め、課題を共有したい」と挨拶しました。



あいさつをする林会長

また、意見交換の場では、子育て世代の定住・転入促進に向けた取組、学校給食回数の拡充、子どもの自死問題、公務員の働き方改革などが取り上げられました。

また、連合神奈川の林会長からは、「現在は春闘期間中であり、第1次集計では加重平均5.26%アップという回答を引き出した。これで3年連続の5%超となる。原油高など先行きの不透明さはあるものの、特に中小企業におけるサプライチェーンの確立が大きな課題になっている」との報告がありました。



あいさつをする齊藤議長

最後に、川崎地域連合の齊藤議長は、「今年度の一般会計予算は過去最高水準であり、他の政令市と比較しても成長が続いている。一方で、社会保障費の増加、インフラ更新、子育て支援、教育環境の質向上など、さまざまな課題も抱えている。将来を見据え、持続可能な財政運営と都市づくりの推進を期待したい」と挨拶を述べました。